

キエフ、ドンバス市民へのクラスター爆弾使用調査を拒否

ICCを受け入れよ——人権ウォッチ

RT (Russia Today)

December 3, 2014



「人権ウォッチ」(Human Rights Watch)によると、キエフはその軍隊が、東部の自国市民に対して、使用を禁止されているクラスター爆弾を使ったことの調査を、拒否している。人権ウォッチはまた、キエフが国際刑事法廷を招いて調査するように要請している。

この人権監視機関は、ウクライナ検察庁が、この国の東部で、同国軍がクラスター爆弾を使用したことについて行った調査に不満をもっている、と同事務局長 **Kenneth Roth** は、水曜日キエフでのメディア・ブリーフィングで話した。

「物理的な証拠を分析するのではなく」ウクライナの検察庁長官は、「兵器が倉庫に存在する」こと、それは他のどこにも移されていないとだけ言った、とロスは伝えた。

彼の説明によると、人権ウォッチは、ウクライナの軍事検察庁に、キエフ軍が住宅地帯で、クラスター爆弾や **Grad** 多重ロケット発射装置を、用いたかを訊ねたのだった。これに対し、検察庁長官は防衛省にこれを問い合わせた。だから、検察庁がキエフ軍によるどんな法的違反も認めないのは「驚くにあたらない」ことだと彼は言った。その上、検察がチェックしたのはクラスター爆弾でなく地雷だった、と付け加えた。



ウクライナ軍がドネツク地区の Gorlovka の街を砲撃するのに用いたクラスター爆弾の破片

人権ウォッチはこのような調査には満足していない、と彼は強調した。

ウォッチは、独自の調査を行ったときに、ウクライナ東部の住宅地区で、クラスター爆弾が政府側によって用いられたことを発見した、とロスは言った。

<http://www.hrw.org/news/2014/10/20/ukraine-widespread-use-cluster-munitions>

クラスター爆弾にやられた地域には、それとわかる痕があつて、人権ウォッチはそれがこの地域で用いられたと自信をもって言える、とロスは付け加えた。その上、防衛省の役人と話しているときにも、彼らは、不正確な兵器を使用した“可能性”は否定しなかったが、ウォッチの提出する証拠は拒否した。

ロスは、地方民兵団に支配されている地域から砲撃するときには、この不正確な兵器を住宅地帯で用いることを禁止していることを強調した。

<https://www.youtube.com/watch?v=ixf1LEzh1fo>

人の多く住む地域でのクラスター爆弾の使用は、この兵器の無差別的な性質のために、戦争法規に抵触するもので、戦争犯罪に当る可能性がある、とロスは説明した。クラスター爆弾は正確でなく、住宅地域で使うことはできない。

人権ウォッチはキエフに対し、市民の住む地域で、グラッド発射装置とクラスター爆弾を使うことを禁止するよう求めた。

ウクライナは、国際刑事法廷（ICC）に東部での違反の事実調査を求めるべきだ、とロスは

言った。

キエフはかつて、ICC にマイダンの死亡者たちの調査を要請したことがあるが、調査団にはその部分しか調査をさせなかった。

しかし、もし ICC が“操られて”、コンテキストなしにある出来事だけを調べるとしたら、その義務を果たすこともできず、仕事もできない、とロスは言った。

参考記事：<http://rt.com/news/197692-ukraine-cluster-munition-watchdog/>

彼はまた、キエフが ICC の“ローマ規定”に参加するように強く求めた。この規定は、核となる 4 つの国際的犯罪を定めている——民族虐殺、人道に対する罪、戦争犯罪、および侵略犯罪。

水曜日にロシア外務省は、7月から 11月までの期間に、ウクライナで行われた人権侵害に関する「白書」報告を発行した。

<http://www.mid.ru/bdomp/nsdgpch.nsf/03c344d01162d351442579510044415b/38fa8597760acc2144257ccf002beeb8/%24FILE/%D0%91%D0%B5%D0%BB%D0%B0%D1%8F%20%D0%BA%D0%BD%D0%B8%D0%B3%D0%B0%2007.2014-11.2014.pdf>

そこには、重兵器と戦争用航空機のほかに、ウクライナ政府は、焼夷弾、硫黄およびクラスター爆弾、Grad および Uragan 多重ロケット発射装置、トーチカ U 弾道ミサイル、ホヴィッツァーおよび 240mm 臼砲装置を用いたと書かれている。



この情報は、メディア、目撃者、人権ウォッチやアムネスティ・インタナショナルのような権威ある人権組織、および西側政府や情報部筋によって確認されている、と同外務省は言っている。

「すべてこのような事実が、まさに市民に対して犯された、また犯されつつある戦争犯罪であると考えてもらって間違いありません」と、ロシア外務省の人権オンブズマン **Konstantin Dolgov** は言った。彼は、この報告書の証拠は、人権ウォッチに提出される予定だと付け加えた。

参考記事：<http://rt.com/news/204683-hrw-incendiary-weapons-ukraine/>

ウクライナは4月以来、内紛に巻き込まれている。それは、彼らがキエフのクーデタによる押し付け政府を認めるのを拒否した後、キエフ軍がドネツクとルガンスクという東部地区に、不意打ち攻撃を始めて以来ずっと続いている。

白書の報告によれば、いまだに約 **250** 万人（のロシア系人）が戦闘地域に残っているが、ほぼ **41** 万 **5000** 人は **10** 月の時点で国外退去している。ロシアには、ウクライナからの亡命者が **83** 万人以上いると白書は言っている。

国連は、ウクライナ紛争で死んだ人々が **4300** 人以上、他に負傷者が **1** 万人ほどいると推計している。